

# 水の行方、知っていますか？

下水道は私たちが清潔で快適に暮らすために不可欠です。今号では下水処理の仕組みや下水道の維持管理など、普段見ることのできない下水道の舞台裏を紹介します。  
下水道経営課 ☎92-3031

## 水がきれいになるまで



## 下水道施設・設備の維持管理や改築更新が不可欠です

市内の下水道が整備されていない地域へ、下水道の普及を進める未普及対策や、老朽化した下水道管の取り替え、メンテナンスを行う長寿命化対策のほか、集中豪雨時における浸水被害の軽減を図るための

浸水対策、自然災害発生時における下水道機能確保に向けた地震対策など、当たり前の日常を守るため多岐にわたって取り組んでいます。

### 取り組み事例

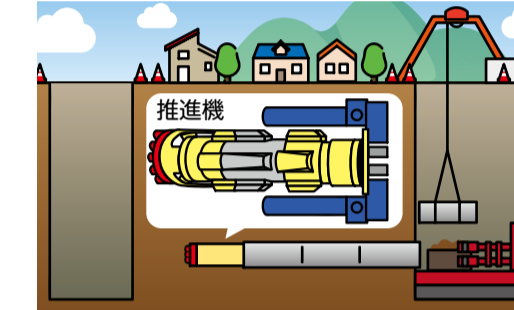
#### 未普及対策

下水道の未整備地域や伊勢原大山インター土地区画整理事業に伴うインター周辺地域の下水道を整備しています。令和5(2023)年3月末時点で下水道行政人口普及率は81.2%です。

推進工法による現場作業の様子



推進工法



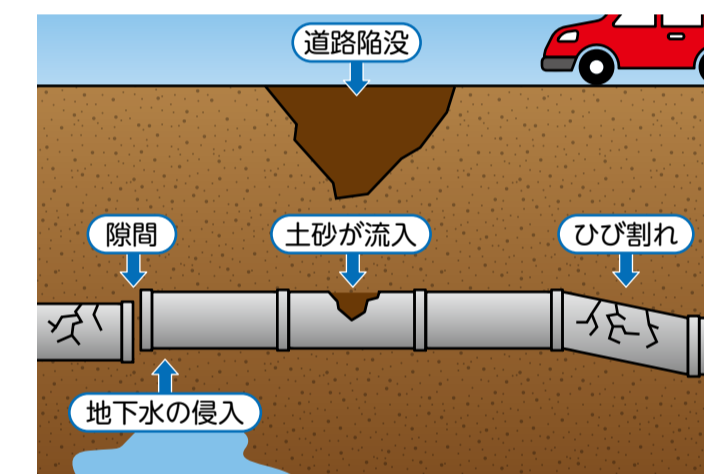
下水道の整備区域図



市内の下水道整備では、直接地面を掘削して下水道管を埋設する開削工法のほか、推進機で地中を水平方向に掘り続けて管を設置する推進工法を用いており、交通量の多い道路や地中に深くに管を設置する際は、推進工法による工事を進めています。

#### 長寿命化対策

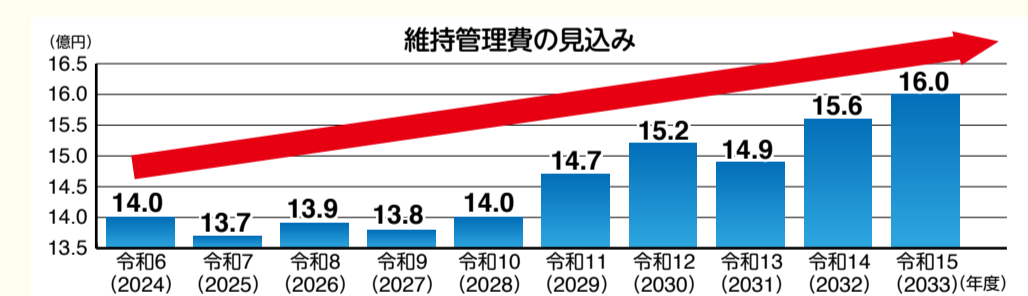
下水道管が老朽化することにより、ひび割れや腐食、破損、隙間などが発生し、道路陥没や地下水の浸入、下水の流れが悪くなるなどの原因になります。



下水道管の取り替え、補修を行うことで、将来にわたって長く利用できるよう長寿命化対策を進めています。

## 4月から下水道使用料を上げます

市内の下水道は利用開始から50年以上が経過し、下水道管や終末処理場、ポンプ場など、多くの施設や設備の計画的な改築や地震・浸水被害の軽減に向けた対策が必要で、



また、電気料や物価の高騰、

労務単価の上昇により、適切な維持管理を行うための経費は今後も上昇傾向になると見込んでおり、継続して安定した下水道サービスを提供するため、使用料を引き上げます。

下水道使用料早見表 2カ月あたり(税込み)

排水量	16mまで(基本額)	40m	60m	80m	100m	200m	600m	1000m	2000m	6000m	10000m
改正前	1806円	4710円	7658円	1万 826円	1万 4016円	3万 1616円	12万 4456円	23万 1376円	49万 8676円	166万 4676円	283万 676円
改正後	1997円	5165円	8421円	1万 1897円	1万 5395円	3万 4755円	13万 6835円	25万 4315円	54万 8015円	182万 8415円	310万 8815円
差額	191円	455円	763円	1071円	1379円	3139円	1万 2379円	2万 2939円	4万 9339円	16万 3739円	27万 8139円
改正率	10.6%	9.7%	10.0%	9.9%	9.8%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	9.8%	9.8%

下水道使用料単価表 2カ月あたり(税抜き)

排水量	基本額	加算額									
		17~40m	41~60m	61~80m	81~100m	101~200m	201~600m	601~2000m	2001~10,000m	10,000m超	
改正前	1642円	110円	134円	144円	145円	160円	211円	243円	265円	284円	
改正後	1816円	120円	148円	158円	159円	176円	232円	267円	291円	312円	
差額	174円	10円	14円	14円	14円	16円	21円	24円	26円	28円	

(例)50m排水した場合 ( 1816円 + 24m×120円 + 10m×148円 ) × 1.1 = 6793円(1円未満切り捨て)

### 施設見学会・説明会を実施します

終末処理場(アクアクリーンセンター)の見学会・説明会を行います。

とき 3月15日(金)~17日(日)の午前9時30分~11時、午後2時~3時30分  
定員 各回50人  
申込 市ホームページ「産業・まちづくり」→「上水道・下水道」、または右のQRコードからお申し込みください  
締切 2月16日(金) 電子申請ページ

